

SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 1 月 11 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
運輸事業として社会貢献できる事を率先して行い、運輸事業の発展と事業の抱える問題の改善に取り組む。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
持続可能な事業であり続ける為に、異業種との仕事にも取組むことで運輸事業ならではの価値を高める。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	健康経営認証の取得。	認証の取得こそできなかったが、健康推進活動を年に3回行うようにした。具体的には病院に行きやすい環境や予定を組み、結果社内では好評だった。	コロナのような社会問題や従業員の平均年齢増加による健康面での心配がされる為、そういった問題対策に関与出来るような活動及び取り組みの実施。
	若年層の社会見学の拡充。 安全管理教育の追加事項を含んだ部分の再実施。 事故防止対策の見直しと拡充。	全て実施、達成する事が出来た。県内での事故状況と対策を毎月、休憩室の目に付く場所に掲示し、社内での共有と対策を促した。	継続実施に加えて、安全管理教育の見直しを行い社内安全講習を年に2回実施する。
	ウォーターサーバーの設置。	加えて、洗車時の水の使用を削減出来るよう給水タオルを配布し使用した。	継続実施。良いものがあれば、新製品導入の検討。
	自社に地下タンクを設置し燃料の管理。デジタコを導入しドライバーに運行状況及び運行履歴を1運行毎に確認の継続実施。 加えて追加車両にデジタコを導入。	燃料や尿素の高騰の影響により、更なるエコドライブに向けての教育や情報交換などの取り組みを運転手を交えて実施した。今年度は納車日遅れにより追加車両は無かった。	継続実施。電気自動車のトラックなども実用化されてきた為、運輸業界としてのエネルギー問題への取り組み参加への検討。
	「Gマーク」安全性優良事業所としての継続更新。	左記継続に加え、ホワイト物流に参加したりと、労働状況改善に向けてトラック協会などの活動に数多く参加取り組んだ。	継続実施。
	城南静岡中学及び城南静岡高校を応援。	左記継続。	継続実施。
	安全性の高い道具や消耗品を率先して利用。	加えて、急な気候変動や故障などによる急なトラブルにも対応できる応急機器会社に備えるようにした。	部品やタイヤの高騰や不足に際して、予備の確保を可能な限り最善の状態ですべてが運行を行えるように取り組む。
	リサイクルパーツの利用。	リサイクル製品や不用品回収などを取り扱う業者に多く引き取って貰うようにした。それに伴いリサイクル可能な製品をよく買うようになった。	自車の仕事で使う消耗品は、なるべく買わず不用品で代替え出来るものは再利用したりと自社内のごみの排出量を減らす取り組みをしていきたい。
	SDGsを通じて、同業者だけでなく異業種の方とも関わりを築き上げる。	トラック協会等の催しに積極的に参加し、コロナにおいて変化した物流業界の改善及び対策において政治家を含めた他業種を交えた活動を多く行った。	運送事業だけでなく、他業種との情報交換の場を設け、市場変化の対応を先駆けて行えるように情報の共有・交換の機会には積極的に参加する。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴール**について**目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	今村運送有限会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	1 事業所
2	業 種	6. 運輸業	
3	従業員（構成員）数	19 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	今村陽紀
5	所 在 地	〒 4 2 1 - 0 1 1 3	
		静岡市駿河区下川原 2 丁目 3 0 番 5 号	
6	ホームページURL	https://imamuraansou.com	